

# 第 13 回理事会議案書

公益財団法人

愛知・名古屋アジア競技大会組織委員会

公益財団法人愛知・名古屋アジア競技大会組織委員会第13回理事会

**【議 案】**

第1号議案      アジアパラ競技大会の準備等に係る公益目的事業  
                         の内容の変更認定申請について

## **【議案】**

### **第1号議案**      アジアパラ競技大会の準備等に係る公益目的事業の内容の変更認定申請について

本組織委員会の公益目的事業を「2026年に開催される第20回アジア競技大会の準備及び運営に関する事業」から「2026年に開催される第20回アジア競技大会及び第5回アジアパラ競技大会の準備及び運営に関する事業」に変更することに関して、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第11条に規定する変更の認定を受けるため、同条の規定により、内閣総理大臣あてに申請する。

なお、変更認定申請書の作成等については、会長に委任する。

**【第 1 号議案参考資料】****アジアパラ競技大会の準備等に係る公益目的事業の内容  
の変更認定申請について****1 趣旨**

2022 年 4 月 8 日に開催されたアジアパラリンピック委員会（APC）臨時理事会において、愛知県及び名古屋市が第 5 回アジアパラ競技大会の開催都市として決定されました。

これに伴い、同月 26 日付で愛知県及び名古屋市から本組織委員会に対し、現在実施している第 20 回アジア競技大会の準備及び運営に関する事業に加えて、第 5 回アジアパラ競技大会の準備及び運営に関する事業を実施するよう依頼がありました。

また、7 月 5 日には、第 5 回アジアパラ競技大会の開催にあたって、当組織委員会に対して政府が協力する旨の閣議了解がなされました。

本組織委員会が第 5 回アジアパラ競技大会の準備及び運営に関する事業を実施するにあたっては、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 11 条に規定する変更の認定を受ける必要があることから、同条の規定に基づき、内閣総理大臣あてに変更認定申請を行いたいと考えています。

なお、本組織委員会が第 5 回アジアパラ競技大会の準備及び運営に関する事業を実施するうえでの事業計画書、収支予算書の承認については、変更認定申請の承認の状況等を踏まえ、別途理事会で決議をお願いする予定です。

- ・参考資料 1 第 5 回アジアパラ競技大会の概要（2022 年 3 月 28 日 愛知県・名古屋市・JPC 共同記者会見説明資料）
- ・参考資料 2 愛知県・名古屋市からの依頼文（令和 4 年 4 月 26 日付「第 5 回アジアパラ競技大会の準備及び運営に関する事業」の実施について（依頼））
- ・参考資料 3 2026 年第 5 回アジアパラ競技大会にかかる閣議了解（令和 4 年 7 月 5 日付 2026 年第 5 回アジアパラ競技大会について）

## 2 変更認定申請書の主な内容

### (1) 法人の基本情報

- ・本組織委員会の名称、所在地及び事業概要などを記載。

### (2) 法人の事業

- ・本組織委員会の行う事業を、「2026年に開催される第20回アジア競技大会の準備及び運営に関する事業」から「2026年に開催される第20回アジア競技大会及び第5回アジアパラ競技大会の準備及び運営に関する事業」に変更するとともに、変更後の事業が法律上の公益目的事業に該当することを説明。

### (3) 法人の財務

- ・変更後の事業に関する収支予算が、財務に関する公益認定基準（収支相償であること等）に適合することを説明。

### (4) 確認事項

- ・公益認定を得る上での欠格事由（暴力団員が法人の事業活動を支配していないこと等）に該当しないことを確認。

# 第5回アジアパラ競技大会の 開催表明について

2022年3月28日

愛知県

名古屋市

日本パラリンピック委員会（JPC）

## 1 アジアパラ競技大会

- 国際パラリンピック委員会(IPC)の地域委員会であるアジアパラリンピック委員会(APC)が主催し、4年に1度開催
- アジア地域におけるパラリンピック・ムーブメント（※）の推進と競技スポーツのさらなる進展を図るために開催するアジア地域の障害者総合スポーツ大会

### 【開催地】

2010年：第1回大会（中国・広州）  
2014年：第2回大会（韓国・仁川）  
2018年：第3回大会（インドネシア・ジャカルタ）  
2022年：第4回大会（中国・杭州）

（※）パラスポーツによって、「障害のある人に対する人々の意識」、「障害のある人の移動の自由」、「障害のある人への機会の均等」の3つの変革をもたらすための活動

## 2

## 開催意義

- アジアパラ競技大会の開催には、アジア競技大会と共通する開催意義に加え、愛知・名古屋が、日本、さらにはアジアの障害者スポーツをリードすることにより、障害への理解促進や、障害のある方の社会参加の促進に大きな役割を果たし、ひいては、多様性を尊重し合う共生社会の実現に貢献するという意義がある。

### 【アジア競技大会の開催意義】

- アジアのスポーツの発展や友好と平和の促進に貢献
- 東京2020大会の開催によるスポーツへの関心の高まりを引き継ぐ、日本のスポーツ界の次なる大きな目標
- 交流人口の拡大や国際競争力の強化など、愛知・名古屋はもとより、中部圏、さらには、日本全体の成長に貢献
- 日本のセンターとしての愛知・名古屋のブランドを確立
- 成長著しいアジア地域と愛知・名古屋及び中部圏、さらには日本とのより強固な連携の構築に寄与

第5回アジアパラ競技大会の開催表明について

## 3

## 大会コンセプト

- アジア競技大会と共通のコンセプトとし、アジアパラ競技大会の特性を加える。
  - アスリートファーストの視点
    - パラアスリートが最高のパフォーマンスを発揮できる舞台を用意
  - 既存施設の活用
    - 必要なバリアフリー対応も行いながら、既存のスポーツ施設の活用を中心に展開し、開催時及び開催後の経費を低減。
  - 先端技術の駆使
    - 最新技術を導入し、パラアスリート等に快適で安心・安全な競技・滞在環境を提供
  - 伝統と県民・市民性に触れるおもてなし
    - ボランティアと一体になり、地域を挙げて大会を盛上げ
  - アジア競技大会・アジアパラ競技大会の開催を誇りに、さらなるスポーツ文化の普及へ貢献
    - パラアスリートの競技力向上を支援するとともに、パラスポーツを楽しむ文化を普及

第5回アジアパラ競技大会の開催表明について

## 4

# 競技数／競技会場／大会期間

### ■ 競技数

#### ➤ 18競技〔想定〕

※実施する競技は、パラリンピック競技大会の実施競技を基本として、過去のアジアパラ競技大会の実施状況を踏まえ、今後、APCと協議

### ■ 競技会場

#### ➤ アジア競技大会の会場を中心に活用〔想定〕 （メイン会場：名古屋市瑞穂公園陸上競技場）

### ■ 大会期間

#### ➤ 2026年10月の7日間〔想定〕

第5回アジアパラ競技大会の開催表明について

## 5

# 参加国／参加人数／選手村

### ■ 参加国

#### ➤ APCに加盟する国と地域 （2022年3月28日時点：44の国と地域）

### ■ 参加人数

#### ➤ 選手団（選手・チーム役員）：4,000人程度〔想定〕

※過去大会の実績を参考に想定

### ■ 選手村

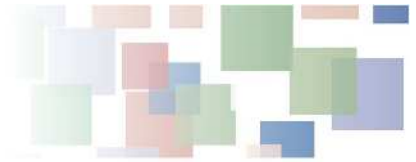
#### ➤ アジア競技大会のメイン選手村（名古屋競馬場跡地）を活用

第5回アジアパラ競技大会の開催表明について



## 6

## 財政計画



- アジア競技大会の競技会場や選手村の施設を共用することにより、アジアパラ競技大会に必要な追加経費として、150億円を想定

（ アジア競技大会（850億円）とあわせて  
2大会で1,000億円を想定 ）

※過去大会の開催経費の実績等を参考に試算

第5回アジアパラ競技大会の開催表明について

## 7

## 今後のスケジュール



4月	愛知県、名古屋市、日本パラリンピック委員会（JPC）からAPCへ開催申請
5月頃	APC理事会において、2026年アジアパラ競技大会の開催地が決定
10月頃	APCとの間でアジアパラ競技大会開催都市契約締結

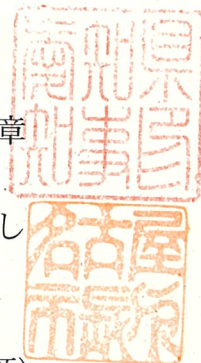
第5回アジアパラ競技大会の開催表明について

4ア競第20号  
4総ア第4号  
令和4年4月26日

(公財)愛知・名古屋アジア競技大会組織委員会  
会長 大村 秀章 様

愛知県知事 大村 秀章

名古屋市長 河村 たかし



「第5回アジアパラ競技大会の準備及び運営に関する事業」の実施について（依頼）

日頃より、第20回アジア競技大会の準備及び運営に関する事業の推進にご尽力いただき、ありがとうございます。

愛知県及び名古屋市は、令和4年4月8日に開催された、アジアパラリンピック委員会（APC）臨時理事会において、2026年の第5回アジアパラ競技大会の開催都市として決定されました。

両大会（第20回アジア競技大会及び第5回アジアパラ競技大会）の準備及び運営を効率的に行うためには、1つの組織委員会の下で、両大会の準備及び運営に関する事業を推進することが、必要不可欠であると考えております。

つきましては、貴委員会において、「第20回アジア競技大会の準備及び運営に関する事業」に加えて、「第5回アジアパラ競技大会の準備及び運営に関する事業」を実施していただくようお願い申し上げます。なお、第5回アジアパラ競技大会の概要につきましては、別紙のとおり想定しております。

ご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



(愛知県スポーツ局アジア競技大会推進課)  
(名古屋市総務局総合調整部アジア競技大会推進室)



## 第5回アジアパラ競技大会の概要

## 1 大会概要

区 分	内 容
主 催 者	アジアパラリンピック委員会 (APC)
大会期間	2026年10月の7日間〔想定〕
選 手 団 (選手・チーム役員)	4,000人程度〔想定〕
参加国・地域	APCに加盟する国と地域 ※現在は44の国と地域
実施競技	18競技〔想定〕
競技会場	アジア競技大会の会場を中心に活用〔想定〕 (メイン会場：名古屋市瑞穂公園陸上競技場)
選 手 村	アジア競技大会のメイン選手村(名古屋競馬場跡地)を活用

## 2 財政計画

アジア競技大会の競技会場や選手村の施設を共用することにより、アジアパラ競技大会に必要な追加経費として、150億円を想定

## ＜内 訳＞

支 出		収 入	
運 営 経 費	115 億円	事 業 収 入	20 億円
競 技 会 場 仮設整備費	15 億円		
選 手 村 仮設整備費	20 億円	行 政 負 担 (※)	130 億円
合 計	150 億円	合 計	150 億円

※行政負担130億円の負担割合については、愛知県：名古屋市＝2：1とする。

2026年第5回アジアパラ競技大会について

令和4年7月5日  
閣議了解

2026年にアジアパラリンピック委員会の主催により、愛知県・名古屋市で開催される第5回アジアパラ競技大会は、国際親善やスポーツの振興、共生社会の実現等に大きな意義を有するとともに、先に開催される第20回アジア競技大会と一体的に開催されるものであるため、大会の運営に当たる公益財団法人愛知・名古屋アジア競技大会組織委員会に対し、政府は協力するものとする。

なお、政府としては、簡素を旨とし、別紙に掲げる方針により対処するものとする。

- 1 競技施設については、既存施設の活用を図ること。
- 2 大会の開催に関連する公共事業については、その必要性等について十分な検討を行い、通常の公共事業費の中での適切な配分により対処し得るものにとどめ、新たに国による特別の財政措置は講じないこと。
- 3 大会運営費については、適正な入場料の設定、放送権収入等の事業収入、民間からの募金・協力等、国費以外により賄われるものとする  
こと。